

目の不自由な方に「ひろしま市議会だより」の点字版とカセットテープ版を発行しています。希望される方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。(申し込み、問い合わせ) 市議会事務局秘書広報室広報担当 ☎504-2439 FAX504-2448



◎発言順に掲載(※紙面の都合上、1人2問以内で掲載しています。質問内容は、発言議員本人の提出によるものです。)

発言項目

◎発言順に掲載

谷口 修

(自民党・保守クラブ・安佐南区)

広島市行政

子ども・子育て支援

西風新都

中本 弘

(自由民主党・南区)

松井市政4年間の総括

広島駅周辺地区の整備

比治山公園の整備

離島振興

土砂災害からの今後の復興

地方版総合戦略の策定

星谷鉄正

(公明党・中区)

災害に強いまちづくり

子どもの貧困対策

性犯罪被害者への支援体制の強化

被爆70周年を契機とした核兵器

廃絶に向けた取組の強化

若林新三

(市民連合・安佐北区)

災害対策

放射線影響研究所の移転

教職員の給与費等の移譲

水素エネルギーの活用

可部バイパスの整備推進

危機管理室の新設

安佐市民病院の建替え

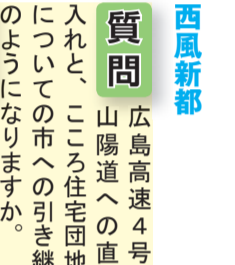


谷口 修 自民党・保守クラブ (安佐南区)

市政運営

安佐市民病院の建て替えや旧広島市民球場の活用策について、住民同士が対立している問題を、どのように解決しますか。

市民が関心を持つ重要な施策の決定に当たっては「自分たちのまちは自分たちで創る」ということを基本に、市民の間での多様な意見や評価を踏まえ、総合的に勘案した上で最終的な判断を下すべきものと考えます。したがって、市民の間での真摯な議論があることは重要であり、それを踏まえて判断を示すことがまさにリーダーシップだということを考え方のもと、対応したいと考えています。

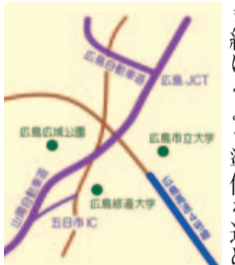


西風新都

西風新都

広島高速4号線から山陽道への直接乗り入れと、この住宅団地の道路について市への引き継ぎはどのようにになりますか。

山陽自動車道に直接接続するルート案には課題もありますが、構造的な工夫により対応可能と考えており、現在、管理者の意見を聞きながら検討を深めています。また、この住宅団地については、今後、ゴミボックスの占用許可基準等の検討結果を踏まえ、開発業者や地元町内会との話し合いを行いながら、来年度の話し合いの早い時期に市道として引き継げるよう準備を進めます。



広島高速4号線位置図

広島駅周辺地区の整備

A、B、Cブロックの再開発が完了したわけではなく、東荒神町、西蟹屋をはじめ、これまでの取り組みで残された地区も含めた都市計画的なものを策定する必要があると思いますが、どうですか。

大きく取り組みが取り残された東荒神町などの地域を含む計画づくりにおいては、市域全体の活力向上と駅周辺地区のぎわい拠点としてのポテンシャルの高まりを通じて、まちづくりの機運が醸成されると考えます。それに応じて、引き続き積極的に支援に取り組んでいきます。



星谷鉄正 公明党 (中区)

被災地の「今」に基づく対策

東日本大震災の復興を担当する復興庁の行政官も指摘されていますが、被災地の今、あるいは今後を見据えた対策を考える上で、大切なことは被災地の今の十分な情報です。このたびの広島市の豪雨災害においても、全市民的な課題として復旧・復興に対応していくためには、被災地の現状、取り組みの進捗状況などを適宜、議会、市民に対して、情報発信していく必要があると思いますが、どうですか。

今回の災害の特徴は、短時間での局地的な豪雨により、主に安佐南区と安佐北区の一部に被害が集中したことです。被災地の現状や復興の進捗状況の情報を発信し、情報のギャップ解消に努めることは、復興を本市全体の課題としてとらえ、対応を着実に進めるため、また、市民一人一人が身近な課題として防災等に取り組むため、極めて重要かつ有効と考え、復興まちづくりビジョンに、そのための取り組みを盛り込みたいと考えています。策定後は、適宜、議会や市民への情報発信に努め、災害に強いまちづくりを着実に推進します。



復興まちづくりビジョンの位置付け

砂防ダムの整備状況はどうか

砂防ダムの整備は8、20土砂災害で被災した人が安心して住み続けるためにはどうしても必要な事業です。計画どおり事業が進んでいるのですか。

国においては地元説明会での意見や要望を踏まえて概略設計を実施し、現在は、測量、地質調査を進めています。今後は、工事施工のための詳細な設計を進め、土地所有者等と用地交渉が進められる予定で、県においては既に設計と工事発注を完了しており、平成27年度末完成に向けて、現在準備中と聞いています。



若林新三 市民連合 (安佐北区)

可部バイパスの早期4車線化

可部バイパスは一部4車線化されていますが、JR可部線の跨線橋が2車線のため、本来の機能が発揮できていません。早期に跨線橋を整備して4車線化する必要があると思いますが、どうですか。

中島交差点から国道191号との交差点までの区間の4車線化は重要な事業と認識しており、さまざまな機会を通じて国土交通省へ積極的な要望を行ってきた中、国の補正予算で可部跨線橋の下部工事が認められ、今年度内に着手する見通しとなりました。今後、早期に4車線化が図られるよう、引き続き国に強く要請します。



沖宗正明 市政改革ネットワーク (安芸区)

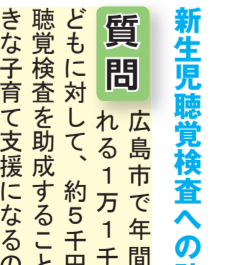
ストップ少子化

少子化対策にどう取り組みますか。

連携中核都市圏制度を活用し、16の近隣市町と都市連盟を結び、経済の活性化と200万人超の圏域人口の維持を目指したいと考えています。その中で、子どもを生み育てやすい環境づくり等を強力に推進したいと考えています。また、本市が独自に、また他都市に先駆けて行ってきた小児難病についての相談室の開設に加えて地域での相談の充実等に取り組むこととしていきます。



新生児聴覚検査機器



新生児聴覚検査への助成

新生児聴覚検査への助成

広島市で年間に生まれる1万1千人の子どもに対して、約5千円かかる聴覚検査を助成することは、大きな子育て支援になるのではありませんか。

聴覚障害の早期発見等のための取り組みと合わせ、市内の産婦人科医療機関において検査機器の導入が進んだことから、聴覚検査を受けている新生児の割合は増えています。引き続き、新生児期の検査の必要性について周知を図りながら、今後の受診率の推移を見つつ、他の検査とのバランスなども考慮して、必要な対応を検討したいと考えています。

子育て支援に予算を

広島市の子どもの医療費補助制度は政令市で最下位です。不要・不急の巨額開費をやめて、子育て支援に大きく財支出動するときです。子どもの命を守る自治体になってこそ世界に誇れるまちになるのではありませんか。

現行の所得制限、一部負担金制度のままでは、対象年齢拡大には、経済的支援を要しない一方で支援する仕組みになっていくことなど考慮すべき問題があるため、所得制限および一部負担金の見直しと対象年齢拡大とを一体的に行うことについて、引き続き検討してはどうかと考えています。

被爆地の役割発揮

被爆70年の今春開かれるNPT再検討会議の成功に向け、核兵器の廃絶を訴えたオーストリアの核兵器禁止文書に賛同しないという日本政府に対し、核兵器禁止条約の具文化に向けたリーダーシップをとるよう働きかけるべきでは?

これまでもNPT体制を強化する役割を果たすよう日本政府に働きかけてきました。今後も必要に応じて本市や平和首長会議の思いを伝えることとしており、政府には、ヒロシマの思いを受け止め、核兵器禁止条約の交渉開始への動きが少しでも前進するよう取り組んでほしいと考えています。



中原洋美 日本共産党 (南区)

被爆地の役割発揮

被爆70年の今春開かれるNPT再検討会議の成功に向け、核兵器の廃絶を訴えたオーストリアの核兵器禁止文書に賛同しないという日本政府に対し、核兵器禁止条約の具文化に向けたリーダーシップをとるよう働きかけるべきでは?

これまでもNPT体制を強化する役割を果たすよう日本政府に働きかけてきました。今後も必要に応じて本市や平和首長会議の思いを伝えることとしており、政府には、ヒロシマの思いを受け止め、核兵器禁止条約の交渉開始への動きが少しでも前進するよう取り組んでほしいと考えています。



荒神陸橋から望む西蟹屋方面



可部バイパス(可部跨線橋)



子育て支援に予算を